

羅 針 盤			方 策	点検・評価		達成度	達成状況のまとめ及び次年度の課題	学校関係者評価
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート等			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	①学校生活を通じて「自分は成長できている」と感じている生徒が90%以上である。 ②生徒会主催の学校行事に対して「主体的に参加している」と感じている生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人ひとりに寄り添い、授業、学校行事及び部活動を活性化することで「明るく楽しく元氣よく」学校生活を送り、将来の目標を明確にさせる。 ・学校行事について、計画から運営まで生徒が協働意識を高めることで、学校への帰属意識を持たせる。 					
	2 生徒の教育再生の場として、学習の取り組み方や社会性を育てていますか。	③不登校等から立ち直り、継続して登校できるようになった生徒が95%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校等で学習機会が不足した生徒に対し、登校しやすい環境を整え基礎学力を身につけさせる。他者を思いやる態度を持たせ、良好な人間関係を構築できる社会性を身につけさせる。 					
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	3 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	④生徒の実態を踏まえた学習指導に、生徒の95%以上が満足している。 ⑤授業中、説明する機会があると感じている生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の習熟度や実情に応じた指導を心がけ、基礎学力向上を基本として学び直しや振り返りを行い、学習に取り組む姿勢を身につけさせる。 ・教員相互の授業参観、授業研究を通して資質向上をめざすとともに、生徒中心の授業展開を工夫などを実践し、授業改善を行う。 					
	4 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	⑥進路目標に応じた学力を身につけたと自己評価している生徒が80%以上である。 ⑦学習に対する達成感や満足感を持っている生徒が90%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的、対話的な学習活動を実践し、社会との関わりの中で生徒が学ぶ意義を実感できる授業展開を実践する。 ・3分野の基礎学力テストに対して目標を持たせ、その達成に向けた学習意欲を喚起する。 					
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	5 組織的・継続的な指導を行っていますか。	⑧全生徒に関する情報交換を月2回実施している。 ⑨悩みを相談できる先生がいると感じている生徒が70%以上である。 ⑩他の通行者への配慮も含めて安全な登下校を心がけている生徒が100%である。 ⑪「生徒会活動や部活動が充実している」と評価している生徒が90%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・全職員参加の生徒情報交換会で生徒情報を共有し、生徒への対応、指導方法について全職員で共通認識を持つ。また情報交換会以外でも日頃から情報共有をはかる。 ・毎日の登校時指導などで生徒を出迎え、職員から挨拶や声かけを積極的に言い、話しやすい雰囲気を作る。 ・下校時刻が違い、安全に帰宅するよう年間を通して生徒へ注意喚起する。 ・原付、自動車通学者はルールを確認した上で許可証を発行し、法令遵守、安全運転での登下校を指導する。 ・生徒全員が生徒会行事や部活動に積極的に参加できる環境を整え、主体性の育成とともに、良好な人間関係を構築できるよう指導する。 					
	6 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めていますか。	⑫学校は、いじめの防止や早期発見に向けた取り組みを積極的に進めていると認識している生徒が100%である。	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から生徒の様子を全職員で観察し、生徒情報を共有した上で適切に対応し、いじめの防止、早期発見につとめる。また、定期的に生徒へのアンケート調査を行い、生徒の訴えを見逃さず全職員で協議して対応する。 					
	7 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	⑬欠席状況が20日未満である生徒の割合が80%以上である。 ⑭交友関係がうまくいっていると感じている生徒が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連絡を密に取り協力を求めるとともに、個に応じた教育相談を実践し、学校中心の生活を指導していく。 ・学校行事や部活動の主体的な活動の中で、生徒間の活発な交流を図る。 					
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	8 計画的な指導を行っていますか。	⑮進路に関する情報を自ら得ようとする生徒が80%以上である。 ⑯キャリア教育に関わる情報を学期に2回以上発信している。	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育セミナーの充実を図るとともに、生徒の多様な進路やニーズに対応できるよう情報の収集と提供を行う。 ・『進路適格』を適宜発行する。 ・担任との面談を通して、自分の将来について考える機会を増やす。 					
	9 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	⑰自分の適性を理解して、進路実現に向けて取り組んでいる生徒が90%以上である。 ⑱アルバイトを含め就業している生徒が90%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回進路希望調査を実施し、担任を中心とした面談の中で自らの職業観を見い出す。 ・オープンキャンパス等に積極的に参加させることで、希望に合った進路選択につなげる。 ・学校卒業時間までの有効活用と生活習慣の確立、さらに社会経験を積ませるといった観点から就業を積極的に勧める。また、就業先での悩みなどを気軽に教員に相談できる体制を整える。 					
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	10 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑲定時制課程の教育活動を理解してもらうために「学校見学」を随時受け付ける。 ⑳学校新聞を学期に1回以上発行し、かつWEBページを月に1回以上更新している。	<ul style="list-style-type: none"> ・11月以降、入学説明会を兼ねた「学校見学」を随時受け入れる。1人あたり60分を目安に丁寧に説明する。 ・学校行事等で個人情報に注意を払いながら、写真や映像を記録として残し、WEBページの更新や学校新聞の素材として活用する。 					
	VI 教育デジタル化に努めていますか。	11 ICTを活用した指導を行っていますか。	⑲ICT機器を使った授業が80%以上である。	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを積極的に取り入れることで、授業への関心を高める。また、教員相互でICT活用について情報交換、技術提供を促進し、生徒の理解、意欲向上につながる教材づくりにつなげる。 				
	12 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	⑳資料はデジタルデータで共有化し、職員会議や打合せの紙面資料の配付は週1回以内になっている。	<ul style="list-style-type: none"> ・会議、打合せはkinakoを活用することで連絡、資料の共有を図る。 ・ペーパーレス化を推進し、紙面資料の配付は必要最小限に抑える。 					